



平成 29 年 7 月 18 日 (火)

2017 年 No.4 7 月号

横浜市立 新羽 中学校

☎542-1680 FAX 541-1038

【HP】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nippa/> 【メール】 [l2-nippa@edu.city.yokohama.jp](mailto:l2-nippa@edu.city.yokohama.jp)

## ● 夏休みを意義深く過ごす ● 校長 宮本 昌季

本年度がスタートして、生徒の皆さんは、約 4 か月の学校生活を一生懸命に送ってきました。さて、そこで今、ちょっと立ち止まってみましょう。長い休みに入る前に、自分にとって、課題となることは何だろう、ときちんと考えておきたいと思います。

私たちの生きる社会を指して、共生社会と呼ぶことがあります。字の通りに、ともに生きる社会です。誰とともに生きるのか。自分とは異なるあらゆる人たちです。電車やバスに乗った時を想像してみます。車いすに座った人、白杖を手にした目の不自由な人、お年寄りや、妊婦の方、さまざまな人たちが、一つの車両に乗り合わせます。路線バスのことを乗り合いバスということがありますが、老若男女、姿形、健康状態、心の状態、言葉など、千差万別の人たちが、一緒に同じ場所で、同じ時間をそこで過ごします。つまり、そこは自分に不都合なことも都合のよいことも交わりあう交差点です。皆さんが過ごす、教室の中での人間関係にも似た側面があります。



しかし、例えば、多くの人が押し黙ってスマホに指を動かしている中、「リュックサックなどの手荷物は体の前に抱えて、他のお客様のご迷惑にならないように乗車してください」といった車内アナウンスを聞くとき、意思疎通が決して円滑ではない社会、代わりに注意する役割の人に依存する社会を感じます。直接に対面し、心を通わせる社会を感じません。学校生活での人間関係づくりはどうでしょうか。お互いが安心して安全に過ごすための気遣いや心配りはできているだろうか。大きな学校行事をともに作り上げてきた仲間たちとのかかわり方に思いを巡らせ、さらに充実した共生社会を築き上げてほしいと思います。

暑くて長いと思った夏休みは、経験どおりに、あっという間に終わります。一日一日を大切に、読書などを通して、自分を見つめる時間を持つことが大切です。自分との落ち着いた対話、心静める時間の確保、ささやかでも、ふだんあまりできない精神的な休養を、ぜひスケジュールに入れてください。

## ● はまっ子学習ドリルで力をつけよう ●

横浜市教育委員会では、子どもたちの学力向上を目指し、「はまっ子学習ドリル」を開発し、教育情報ネットワーク (Y・Y NET) に、国語、算数・数学、日本語、英語 (中学生) を公開しています。ご家庭での学習習慣が身に付くように、ご活用いただきますようお願いいたします。「はまっ子学習ドリル」で検索→「トップページ」→「はまっ子学習ドリル」→ID、パスワードの入力 (ID: hamady パスワード: y4580) ID・パスワードの取扱については、御配慮をお願いします。【横浜市教育委員会 教育課程推進室 電話 045-671-3732】

## ● 体育祭で実現できたもの ● 委員長 3年1組 逢坂 直人 さん

今年の体育祭委員会の委員長を務めさせていただいた逢坂 直人です。今年の体育祭は大変暑い中でしたが、生徒全員が協力してくださり、素晴らしい体育祭を上げることができました。スローガンにもあった「空前絶後の体育祭」というものを実現できたと思います。特に三年生は、最後の体育祭への思いを、会場にいたすべての人に伝えることができたのではないかと思います。また、3レンジャーという先輩たちから受け継がれてきた伝統を自分で担うことができ、とてもいい経験になりました。残念ながら、自分の色は負けてしまい悔しい思いもありますが、三大行事にふさわしいものを見せることができたと思います。支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。



## ● 校長の授業見学日誌 2017 part 4 ●

～ 健康な体と心を育む保健体育科の学び ～

### 【2年2組】保健体育科 矢野 開也 先生



体育館での器械運動の授業です。本時は、マット運動を学んでいます。学習のねらいや振り返りを記載するワークシートが用意されていました。本題に入る前に、準備運動として、縄跳び200回、腕立て伏せ10回、腹筋10回、背筋10回をそれぞれ5分間で2セット行います。その後、柔軟体操をして整列します。縄跳び運動は、健康づくりのために、1校1実践運動として取り組んでいて、縄は昇降口の下駄箱に各自保管しています。マット

運動の学習として、開脚前転、飛び込み前転、倒立を練習しました。倒立は、二人で一人の足を支えてあげて補助をしています。美しい姿勢を保つことをねらいとして、生徒の皆さんは、熱心に体を動かしています。

### 【1年2組】保健体育科 都甲 安紀子 先生

陸上競技の学習です。学習前の準備運動には、全学年ともに縄跳びを取り入れて行い、腕立て伏せや腹筋、背筋運動を続けます。ピロティエを使って、整然と体を動かしています。本時は、校庭で50メートル走と走り幅跳びを男女交互に練習します。先生は、全体がよく俯瞰できるように2種目の場所を配置し、それぞれの生徒に必要な指示を適宜出します。日差しの暑い日でしたが、生徒の皆さんは、指示通りにきちんと活動し、てきぱきとしています。集団



としての行動の仕方を学ぶことも、とても大事な学習の一つです。身に付けた力が、一つひとつ中学生らしい成長につながると思います。頑張れ、1年生。

## ● 夏休み中の「学校閉庁日」について ●

横浜市立学校では、今夏の長期休業期間中、例年通り「学校閉庁」の取組を行います。新羽中学校では、8月8日（火）から8月15日（火）までが閉庁期間です。この期間は、学校に日直当番の教職員を置かず、電話等外部対応を休止いたします。夏休みとは言いながら、部活動指導をはじめとする諸実務において、休暇を取ることがなかなか難しい学校現場の実情に鑑みて、少しでも休暇を取りやすくするため教育委員会により提唱された施策です。教職員にとっては、勤務を要する期間には違いありませんので、出勤者がいる場合もありますが、前述したとおりの対応となります。

ただし、学校への緊急を要する連絡が発生した場合は、管轄する北部学校教育事務所 指導主事室（電話 045-944-5978）に、緊急時に限り、ご連絡ができます。

## ● 今、中学校に思うこと ●

横浜教育支援隊（元横浜市立中学校長） 小山 栄治 先生

教育支援隊の小山と申します。昨年12月に教育委員会より派遣され、新羽中学校の授業や行事、環境整備などのお手伝いをさせていただいています。横浜市の中学校を退職して14年になり、学校教育に携わって半世紀近くになります。最初の教え子は、還暦を迎える年頃になります。

今年の3月、私にとっては3回目の卒業生になりますが、15人ほど集まり、同期会を開いてくれました。みな54、5歳のおじさん、おばさんです。不思議なことに、ものの30分もたたないうちに、中学生時代の面影が浮かんできました。彼らとは3年ぶりの会でしたが、地元に住んでいる者も多く、同級生の消息、家族のこと、病気のこと、仕事のこと、和気あいあいに旧交を温めました。私にとっても教師冥利のひと時、楽しく過ごしました。

帰り道、ふと、20数年前に観た、人間味のある担任と様々な辛い事情を抱えた生徒たちとの交流を描いた山田洋二監督の「学校・・・夜間中学」のワンシーンが思い出されました。学級会の時間でしたか、西田敏行さんの演じる担任の先生が「何のために学校で勉強するのか？」の問いを発し、少し間をおいて一人の男子生徒が「幸せになるため」と答えたシーンです。中学教師である自分に、この言葉は強い衝撃を与えました。学校教育とは何か、自分自身、生徒とどう向き合ってきたのか、どう向き合えばいいのか、と身につまされる思いでした。この作品は、人間の生き方の根幹を問いただした映画だと思いました。



激しく変化する現代において、学校教育の在り方が問われています。学校教育の究極の目的は、一人ひとりの「幸せ観」を形作り、人を幸せにすることの大切さを教え導くことに尽きるのではないかと思います。

教室や廊下で子どもたちが「小山先生」と笑顔で声をかけてくれます。とても幸せに思います。教師になって本当によかったと思います。子どもたちの笑顔は、今も昔も変わりません。一見、屈託なく見えても、思春期の悩み多い年頃です。子どもたちが「幸せになるため」に、人々を「幸せにするため」に微力ながら、頑張りたいと思います。